

銘柄米生産情報

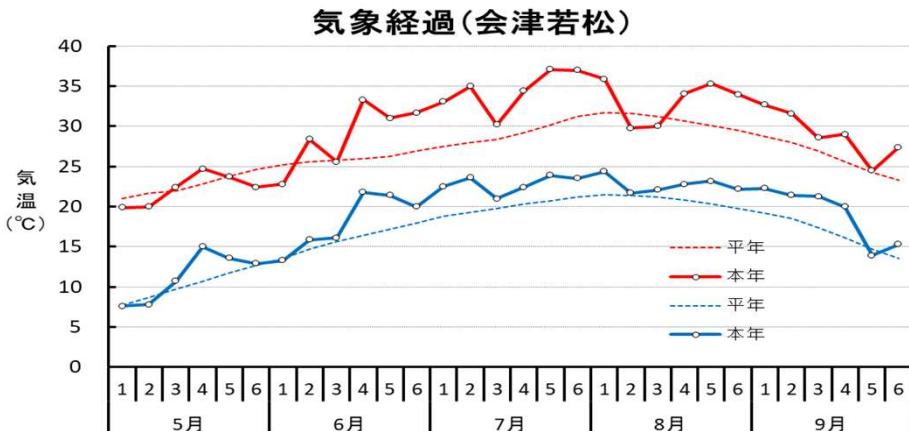
会津若松市・磐梯町・猪苗代町

JA会津よつば（あいづ地区）・JA全農福島県本部

福島県農業共済組合会津支所・福島県会津農林事務所農業振興普及部

令和7年の高温による水稻への影響について

1 7月～9月の気温について



- 令和7年の夏は、昨年に比べ気温は低かったものの、平年に比べ高く経過し、特に7月から8月にかけては、平年を上回る日が続きました。また、降水量や日照時間は少なく経過しました。
- 9月以降、降雨が続き、倒伏、収穫に影響しました。

2 本年の生育の特徴

米の1等米比率はJA会津よつばあいづ地区の平均で95.2%(11/13現在)でした。昨年に比べ、登熟期の気温がやや低く経過したこと、水管理、追肥等の高温対策が実施されたことから、高温による白未熟、乳白等の発生は、昨年に比べ大きく低下しています。品種別にみると、コシヒカリの1等米比率は97.2%、ひとめぼれは98.0%となっています。本年は、稈長が平年より長くなり、9月の大雨により倒伏したほ場が見られました。全面で倒伏したほ場などでは、倒伏による白未熟の発生が多く、品質低下の要因となっていると考えられます。

また、山際だけでなく平坦部でも、出穂が早い品種を中心に着色粒による落穂がみられ、斑点米カメムシ類対策が課題にあげられます。

3 今後の対策について

【高温に対する対策】

- 出穂前頃から、水管理は飽水管理（足跡に水がたまる程度）とし、ほ場が乾かないようにしましょう。
- 出穂期前に葉色がさめると品質低下につながることがあるため、その場合は、追肥を行いましょう。また、稈体の活性を高めるため、堆肥や土壌改良資材（ケイカリン等のケイ酸資材の施用は、高温・倒伏対策になります。）の投入、深耕など土づくりに取り組みましょう。
- 平坦部での斑点米カメムシ類の被害が増加しました。薬剤による防除を徹底しましょう。
- 高温により刈取時期も早まっています。品質低下を避けるため、適期に刈取しましょう。

【倒伏に対する対策】

- 基肥や追肥の量を再度確認し、毎年倒れるようであれば、肥料の散布量を調節しましょう。また、中干しをしっかり行うなどして、倒伏の軽減をはかりましょう。

令和7年の水稻の生育経過について

1 播種期～育苗期

- ・播種作業は概ね平年並に行われました。
- ・育苗期間中は気温の変化が大きく、ハウス内の温度管理が難しい気象経過だったため、一部でもみ枯細菌病等の発生が見られました。

2 移植期

- ・田植えは概ね平年並に進みました。

3 分げつ期

- ・田植え後から6月中旬にかけて低温・寡照で推移したことで、初期生育不良となりました。その結果、茎数が例年よりやや少ないほ場が多く確認されました。
- ・6月第4半旬からは天候にも恵まれ、中干しを実施した生産者が多くみられました。

時期		始期 (5%)	盛期 (50%)	終期 (95%)
播種期	本年	4／15	4／20	4／27
	平年	4／15	4／19	4／27

時期		始期 (5%)	盛期 (50%)	終期 (95%)
移植期	本年	5／14	5／22	5／28
	平年	5／14	5／20	5／26



7月初めのほ場の様子

4 幼穂形成期

- ・幼穂形成期は各品種ともほぼ平年並みからやや遅くなりました。

コシヒカリ（平坦部）:7/17 (+2日)、ひとめぼれ（山間部）:7/15 (±0日)

5 出穂期

- ・管内全域で見ると出穂期は平年並みからやや遅くなりました。

時期		始期 (5%)	盛期 (50%)	終期 (95%)
出穂期	本年	7／29	8／7	8／13
	平年	7／29	8／6	8／11

品種	出穂期	
	本年	平年
コシヒカリ(平坦部)	8／7	8／7
ひとめぼれ(平坦部)	7／29	7／31
ひとめぼれ(山間部)	8／4	8／7
里山のつぶ(山間部)	7／31	8／4

時期		始期 (5%)	盛期 (50%)	終期 (95%)
収穫期	本年	9／17	10／5	10／19
	平年	9／21	10／5	10／17

7 その他

- ・斑点米カメムシ類の発生は平年以上となり、注意報が発令され、里山のつぶや天のつぶを中心に被害が増加しました。
- ・色彩選別機がない一部の生産者での落等が見られました。

さまざまなリスクに備え収入保険に加入しましょう！
(青色申告を行っている農業者が対象です)